

「利益率」

全くの元手なしで質屋を開店した男がいた。
開店早々一人の客がやってきたので、質草を
受け取って金は渡さずに質札だけを渡した。
「金は？」と客が聞くと、男は
「金は今お渡ししても、いずれ返していただく
訳ですから、差し引きゼロということにしまし
て、この質草を請け出される時に利子の分だ
けをお持ち頂ければ結構でございます。」
「??？」



「矛盾」(この言葉の発生源)

楚の国の時代、ある男が市で盾と矛を売り出
していた。
「この盾の頑丈なことと言ったら、なにを持っ
てきてもこれを突き通すことは出来ないんだ」
次に矛をもって「この矛の鋭い切っ先を見ろ、
どんなものでも突き通せないものは無いん
だ」
それを聞いていた者が、
「お前、そうしたら、その矛でその盾を突いた
ら、どうなるんだ」



ある貴族が、お寺へ遊びに行き和尚にあってたずねた。
「あなたは魚や肉など生臭いものをお食べになりますか」
「いや、常は食べませんがお酒を飲むときに少し」
「えっ、お酒も飲むのですか」
「いや、ただ舅が来たときにお相手して少しだけ」

「何っ、舅だと、すると妻も持っているのか。
全くなんというけしからん坊主だ、明日にでも
寺社奉行へいってお前の免許状を取り上げて
やる」貴族が怒りたてたあがると、和尚は
平然として

「いやー、免許状はもうありません。
一昨年、盗みをしていたことがバレてしまって
その時に取り上げられてしまいました」

